


令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	つげ りょうご	
氏名	柘植 良吾	
所属・役職	中津川市市民福祉部新型コロナウイルスワクチン接種対策室 主任主査（元交通政策係長） 標準的なバス情報フォーマット広め隊	
活動拠点	居住地は岐阜県です。地域を限定せず活動しています。	
略歴	<p>【略歴】 2002年04月 岐阜県蛭川村役場入庁 2005年02月 市町村合併により中津川市役所に編入 2009年04月 IT化推進室（庁内事務のIT化で行政改革） 2012年04月 広報広聴課（広報紙、ホームページ、報道対応） 2015年04月 定住推進課（公共交通担当） 2022年01月 新型コロナウイルスワクチン接種対策室（現職）</p> <p>【活動】 ・標準的なバス情報フォーマット広め隊 ・総務省地域情報化アドバイザー（2019年04月から）</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>公共交通の利便性を向上させるためには、住民や来訪者の方へ分かりやすく情報提供をする必要があります。国土交通省が2017年に策定した「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」は、政府の「推奨データセット」にも指定され、時刻や経路、運賃などのバス情報をデータ化して公開することでGoogleMapsなどの各種乗り換え検索アプリで検索可能になります。公共交通情報発信を効果的に行う手段の1つとして、交通事業者や自治体がGTFS-JPを整備し、オープンデータ化する取り組みが全国各地で進んでいます。</p> <p>【GTFS-JPの意義】 ・GTFS-JPを整備する意義や活用事例の紹介（講演）</p> <p>【GTFS-JPの整備】 ・GTFS-JP整備のお手伝い ・GTFS-JP作成ツール（その筋屋、見える化共通入力フォーマット）の操作方法</p> <p>【GTFS-JPの利活用】 ・オープンデータ化 ・データ利活用</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・経路検索事業者（GoogleMaps など）へのデータ提供 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の策定 ・地域公共交通の利用促進
専門分野	オープンデータ 地域ビジネス 観光 ICT 活用広報
自治体向けメッセージ	<p>★インターネットでバス経路検索ができなければ、バスは走っていないのと同じ！</p> <p>★わかりやすく使いやすい公共交通情報を提供したい！</p> <p>国土交通省が策定した「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」によるバス情報の整備と、オープンデータ化。そしてデータ活用（ワンソース・マルチユース）で、バスの利便性向上と活性化、業務改善に向けた取り組みを行っていきましょう！</p>
関連サイト	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通オープンデータ“最先端田舎”への挑戦（ICT 地域活性化ポータル） https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/2019_002.html ・公共交通オープンデータ“最先端田舎”への挑戦（中津川市 HP） https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/life/rt/2/3294.html ・経路検索の充実とバスロケデータの利活用～標準的なバス情報フォーマットの拡充～（国土交通省 HP） https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000067.html
地域情報化に関する実績	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>【講演、データ整備支援実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省中部運輸局、国土交通省四国運輸局、国土交通省九州運輸局、総務省東海総合通信局 ・岐阜県、秋田県、長野県、富山県、三重県、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、大分県、宮崎県 ・市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）、京都光華女子大学 など <p>【表彰・受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年03月 総務省 ICT 地域活性化大賞優秀賞 受賞 ・2019年10月 国土交通省中部運輸局長表彰（一般協力者） 受賞 ・2019年12月 第10回コレゾ賞 受賞 ・2020年11月 地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2020 受賞
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>【公共交通担当として取り組んだこと】</p> <p>◆地域公共交通計画を自らの手で策定！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルに委託しないで計画を内製。 ・定住推進課が公共交通を所管する特長を活かし、「住んでよかった、住んでみたい街に」を基本方針に掲げ、各種施策を実施。 <p>◆GTFS-JP 整備を契機に地方バスを活性化！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津川市内を運行する民間路線バス・北恵那バスと、地域内を巡回する市コミュニティバスの「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」を独自に整備しオープンデータ化。 ・インターネットによるバス経路検索が可能に。多言語整備でインバウンド需要に対応。 ・公共交通オープンデータを活用したデジタルサイネージの設置などに取り組み、

「わかりやすく使いやすい公共交通」の実現を目指す。

◆市内バス事業者の生産性向上に向けて！

- ・ 経験と勘に基づく職人技で行われていたダイヤ編成業務をシステム化。
- ・ 運行計画の策定を行えば自動的に GTFS-JP が生成される体制を整える。
- ・ ベテラン職員の退職や人員不足が予想される中で、データを活用した業務改善、生産性向上を目指す。

◆グリーンスローモビリティと ICT を用いた地方都市バス活性化実証

地方都市の抱えるバス利用者の減少やバス事業者の採算性悪化などの問題に対して、グリーンスローモビリティ（GSM）や ICT といった新技術を活用して解決策を見出す実証実験を実施。

- ①グリーンスローモビリティによる観光交通と生活交通の新たな需要創出実証
- ②生産性向上と働きがい向上のための地方バス事業者 ICT 化推進モデルの提示